

政策体系	基本目標名	06	美しい自然、環境と調和するまちづくり	施策主管課長	環境政策課
	政策名	01	環境にやさしいまちづくり		
	施策名	02	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全		
施策関係課	市民生活課、気候変動対策課、健康増進課、農山村振興課、都市整備課、道路河川課、学校教育課、生涯学習課				櫻井 学

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	R4	R5	R6	R7	成果指標設定の考え方											
	①生活環境(水、大気、土壌、騒音、振動、悪臭) ②自然環境(森林、緑地、河川、水辺、動植物の生態系) ③市民 ④事業者	① 市域面積 ② 森林面積 ③ 市人口 ④ 事業所数(H28経済センサス調査)	km ²	356.04	-		-	-	ha	20,561		-	-	-	人	115,700	-	-	-	事業所	6,236	-
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)				区分	単位	R4	R5	R6	R7	成果指標の取得方法										
	①環境汚染を未然に防止し、良好な生活環境を維持する。 ②自然環境を適切に保全し、次世代に引き継ぐ。 ③環境を大切にすることを育て、環境に配慮した生活を送る。 ④環境に配慮した事業活動を行う。	① 生活環境に関する苦情件数(単年度) ② 適切に整備された森林面積(主伐、間伐の計)(単年度) ③ 環境美化活動の届出件数(単年度) ④ 事業活動による公害苦情件数(単年度)	目標 実績	件	135 172	130 -	125 -	120 -	ha	300 312	386 -		472 -	558 -	件	130 83	135 -	140 -	145 -	15 -	15 -	15 -

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7										
良好な生活環境の確保	①市民 ②事業者 ③生活環境(水、大気、土壌、騒音、振動、臭気)	①②③公害の発生を未然に防止するとともに、公害の発生源対策を講じ、良好な生活環境を保全する。 ③生活環境が基準値に適合している	① 河川・地下水の水質の環境基準達成率 ② 騒音に係る環境基準達成率 ③ 公害苦情に伴う事業所への立入調査 ④ 環境に配慮した生活をしている市民	目標 実績	%	99.5 98	99.5 -	99.5 -	99.5 -	自然環境の保全	①市民 ②自然環境	①自然環境を大切にしている心が育成されている。 ②豊かな自然環境が保全されている。	① 自然観察会への参加者数(単年度) ② 特定外来生物(クビアカツヤカミキリ) ③ 里山林整備面積(単年度) ④	目標 実績	人	150 45	170 -	190 -	215 -	件	120 64	130 -	140 -	150 -	ha	10 0	10 -	10 -	10 -

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和4年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 公害を未然に防止するため、河川水、地下水、自動車騒音等の定期的な観測・調査を行うほか、関係機関と連携した公害パトロールを実施し、事業所等への指導を行う。 地域の環境美化活動に取り組む団体を広報のや市ホームページで紹介し、市民の環境美化活動への自主的な取組の拡大を図る。 「ごみ屋敷」の解消に向け、関係機関と協力し指導等を徹底して行う。 飲用水等給水施設整備費等の補助により、水道水未普及地域への飲用水の安定確保に向けた支援を行う。 空き地の適正な管理、犬猫の適正飼養、野焼きの禁止等について、一層の啓発・取組を推進するとともに、苦情の原因者に対する指導を強化する。 子供が興味をもち、夏休み等に参加しやすい自然観察会を企画・実施するほか、環境月間など機を捉えた広報・啓発を行う。 栃木県、近隣市等と連携し、特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)による被害を最小限に抑える。 里山林の整備・維持管理について、活動団体への制度の周知や新規団体の掘り起こしを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 【施策の取組方針達成状況】 河川水、地下水、自動車騒音等の定期的な観測・調査のほか、関係機関と連携し公害パトロールを実施した。 地域の環境美化活動に取り組む団体をホームページで紹介したが、自主的な取組拡大まで至らなかった。 「ごみ屋敷」に関する条例の運用を図るため、佐野市生活環境保全庁内連絡会議設置要綱を制定した。 飲用水等給水施設整備費等の補助により、水道水未普及地域への飲用水の安定確保に向けた支援を行った。 空き地の適正な管理、犬猫の適正飼養、野焼きの禁止等についての啓発や原因者に対する指導を行った。 森林観察会、生き物観察会等を企画したが新型コロナウイルスの影響により、一部しか開催できなかった。 県と連携し、特定外来生物による防除方法を学び被害を抑えるため薬剤や防除ネットの貸出しを行った。 また、公有施設におけるクビアカツヤカミキリ被害に対する取組方針を定めた。 里山林の新規整備箇所として取組みを予定していたが、令和4年度中に地域団体の申請が整わなかった。 【成果指標達成状況】 生活環境に関する苦情件数、事業活動による公害苦情件数は、目標を下回った。 環境美化活動の届出件数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により目標を下回った。 適切に整備された森林面積は、木材価格が落ち着き伐採の減少も懸念されたが目標を達成した。 				
基本事業	基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況
	良好な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> 河川水、地下水、自動車騒音等の定期的な観測・調査を行うとともに、大気、土壌等について、常時、汚染状況の監視を行う。 条例に基づき、いわゆる「ごみ屋敷」の解消に向けて指導等を徹底して行う。 公害パトロールを県と連携して実施し、改善の指導等を行う。 良好な生活環境を保全するため、広報紙やホームページで啓発を図るとともに、環境美化活動を推進する。 水道水未普及地域に対して、飲用水確保のための支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 【基本事業の取組方針達成状況】 環境モニタリングを実施し、汚染状況の監視を行った。 「ごみ屋敷」の原因者に対し、条例に基づく指導を行った。 公害パトロールを県と連携して実施した。 生活環境を保全するため、啓発を図り、美化活動を推進した。 水道水未普及地域に対しては、補助制度を活用した。 【成果指標達成状況】 河川・地下水の水質基準達成率と、環境に配慮した生活をしている市民の割合が目標未達成となったが、その他の項目は目標を達成した。 	自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 自然保護活動団体等と連携して、自然観察会や生き物調査を行うなど環境学習の充実を図る。 特定外来生物による被害対策を県、近隣市等と連携して行うとともに、市民の協力を得て、被害を最小限に抑える。 里山林の保全・整備・再生を推進する。 	

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> 福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の国による「汚染状況重点調査地域」指定が、平成28年3月31日で解除された。 議会及び近隣住民から、いわゆる「ごみ屋敷」の解消に向けた取組が求められている。 特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)による被害が拡大している。 令和元年東日本台風の水害により、以前にも増して、水道水未普及地域への支援等が求められている。 	市民	事業所	行政
		<ul style="list-style-type: none"> 野外焼却、ポイ捨て等を行わないなど近隣住民の生活環境に悪影響を与えないようにする。 空き地の管理を適正に行う。 犬猫等を適正に飼養する。 環境美化活動や環境保全活動を行う。 身近な自然の保護活動、ふれあい活動、環境学習に参加する。 良好な自然環境を次の世代に引き継ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> 公害関係法令を遵守し、環境に負荷を与えないように事業活動を行う。 企業の社会的責任として環境美化活動や環境保全活動を行う。 森林を適正に管理する。 間伐材等を活用した商品の開発と普及に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の保全に関する啓発を行う。 大気、水、土壌の汚染状況を監視する。 事業所への立入調査や指導を実施する。 里山林整備の支援を行う。 自然保護活動の支援と環境学習を推進する。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 河川水、地下水、自動車騒音、空間放射線量等については、定期的な測定・調査を実施した。河川水等の水質については環境基準を下回った箇所があり成果指標を達成できなかったため、今後の状況を注視する必要がある。許可済の土砂埋立現場については定期的な監視を行い、無許可案件については監視のほか条例に基づく措置を行った。 空き地の適正な管理、犬猫のふん害防止を含めた適正飼養、野焼きの禁止、事業活動に伴う公害の防止等について、広報のや市ホームページで啓発を行うとともに、県と協力して公害パトロールを実施し、事業者に対し公害防止の啓発及び指導を行った。 地域の環境美化活動については、市民の生活環境や自然環境の保全に対する機運を高めるためにも、さらなる取組拡大に繋げる必要がある。 特定外来生物のうち、クビアカツヤカミキリについては近年被害が急拡大しており早急な対応が必要なことから、栃木県クビアカツヤカミキリ被害対策協議会等と連携して、チラシ配布等により被害拡大防止と駆除等の情報提供を行った。公有施設においては、今後、取組方針に基づき対策を推進する必要がある。また、ナラ枯れ被害についても防除対策を引き続き実施する必要がある。 いわゆる「ごみ屋敷」の原因者に対し条例に基づく指導を行うとともに、周辺における生活環境の保全措置を実施した。 自然環境への関心を高めるために、森林観察会、生き物観察会を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により森林観察会は開催できなかった。 里山林の新規整備として取組を考えていた団体は、申請に向けた事務手続きや団体内部による調整に時間を要したため申請に至らなかった。 施策全体の決算額は、令和4年度は4億1,390万円となり、令和3年度と比較すると8,836万円の増となった。主な要因は、佐野地区衛生施設組合のし尿処理施設改修事業の増によるものである。 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度で解決する課題】 無許可土砂埋立ての是正 【令和6年度以降にも引き継がれる課題】 ①典型7公害(水質汚濁、大気汚染、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下)の防止による良好な生活環境の維持 ②市民の環境美化活動への自主的な取組の拡大 ③いわゆる「ごみ屋敷」の解消 ④水道水未普及地域での飲用水の安全・安定確保 ⑤市民の自然環境への関心の向上 ⑥里山林整備事業の新規整備団体の掘り起こし ⑦ナラ枯れ防除対策 【令和6年度重点課題】 ⑧空き地の適正な管理、野焼きの禁止、事業活動に伴う公害の防止対策 ⑨特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)による被害対策 	<ul style="list-style-type: none"> ①河川水、地下水、自動車騒音等の定期的な観測・調査を行う。また、県職員と協力し、公害パトロールを実施することにより、事業所から発生する公害による苦情を未然に防止し、良好な生活環境を維持する。 ②地域の環境美化活動に取り組む団体を広報のや市ホームページで紹介し環境美化についての啓発を図り、市民の環境美化活動への自主的な取組の拡大を図る。 ③いわゆる「ごみ屋敷」の解消に向け、関係機関と協力し指導等を継続するとともに、周辺的生活環境を保全していく。 ④飲用水等給水施設整備費等の補助により飲用水の安全確保をしつつ、安定確保に向けた支援を行う。 ⑤自然環境への関心を高め、環境保全活動を促進するため、自然観察会の開催や環境に関する啓発を行う。 ⑥里山林の整備を推進するため、広報紙等により制度の周知及び活用を広く市民に呼びかけるとともに、関係機関と連携した支援や必要に応じた団体への説明を実施する。 ⑦ナラ枯れの防除対策を行い、森林機能の低下防止に努める。 ⑧空き地の適正な管理、犬猫の適正飼養、野焼き禁止等について、一層の啓発を図るとともに、苦情の原因者に対する指導を強化する。 ⑨県、近隣市等と連携し、特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)による被害を最小限に抑える。